

ひと織り、ひと織り、心を込めて丁寧に

定席に腰を降ろした、及部先生の織り紙教室。本日のお題は「クリスマス装飾」。ひと足ふた足早いクリスマスではありますが、年末に差し掛かるこの時季は、時間の過ぎ方に加速がつく。鬼が笑おうが、楽しく素敵なものは作っていても楽しい。初めに見本を魅せられて、心はウキウキ。いざ、織り紙が始まると悪戦苦闘の始まり。先生が各テーブルに周りながらの指導が始まると、違った意味でのウキウキ感。優しさと丁寧さが、言葉と指先に伝わり、作品はみるみる素敵な装飾に変身。出来上がった作品にうっとりしているのか？先生にうっとりしているのか？どちらでも良いか。

